

# Egil-70

① 在宅の急変時の救急医療、側に向えては保つておくか？

・ケルスの説明 → ケルセルは「何事も思いつく  
F&M 何をしよう = できてる っていう感覚  
救急 → 応急処置をしよう  
重傷的  
意思表示出来ず

延命治療、どう何？救急命の途

- ① 診断を以て治療方針を提示してあげる (F&M 判断材料に)
- ② 延命が出来る苦痛を除去する事をしよう

② 急変時の方針に関して F&M 話し合のやり方

時期を分けるか？ F&M 話し合はいい

・初回面談時、入所時相談、サビ(訪問)開始時  
延命望むたいからその場で考え変化する事もあり  
・状態も含め再度話し合はて欲しい

外部からの積極的参加を望む

③ 情報共有  
職種種別

・カンパニの開催 ⇒ 情報収集  
(初回・中間・退院後)  
(在宅時、ホスピス変更時、介护度変更時)

